



**ktunes**  
RACING

🇯🇵 M.NITTA 🇯🇵 Y.NAKAYAMA

## Super GT 2018 Rd,5 FUJI GT 500mile Report 2018/8/4

### Qualifying Day Summary

中山選手が担当した予選Q1は、熾烈なタイムアタック合戦となり  
トップと0.7秒差ながらも17番手で、惜しくも予選Q2への進出を逃す  
長丁場の決勝レースは、定評あるチームワークで上位進出を狙う

### Qualifying Day

シリーズ唯一の海外戦となるタイラウンドから約1カ月のインターバルを経て、AUTOBACS  
SUPER GTの第5戦「FUJI GT 500mile RACE」が富士スピードウェイで開催された。

富士スピードウェイでは毎年2回のSUPER GTが開催されていて、昨シーズンまでは5月が  
500kmの決勝レース、8月は通常の300kmとなっていた。だが、今シーズンは鈴鹿1000kmが  
SUPER GTのシリーズ戦から外れたこともあり、8月開催の今戦が500マイル(807km)と長丁場  
の耐久レースとなった。SUPER GTでは700km以上のレースになると、獲得できるポイントが引  
き上げられる。通常の決勝レースは、優勝すると20ポイント、2位が15ポイント、3位が11ポイ  
ントだが、700km以上だと優勝が25ポイント、2位が18ポイント、3位が13ポイントと、大幅  
にポイントを積み重ねるチャンスとなるのだ。

タイでの熱戦を終えたマシンは、船積みされて7月末に日本に到着。エンジニアやメカニックは、  
そこから、わずか1週間の間で富士スピードウェイラウンドへの準備を行ないサーキットへ乗り込  
んだ。

今シーズンからチーム体制を新たに初参戦することとなった「K-tunes Racing LM corsa」は、わ  
ずか3戦目の鈴鹿サーキットラウンドで優勝を果たし、第4戦のタイラウンドでは粘りの走行を見  
せて10位でポイントを獲得した。第4戦を終えた時点でドライバーズポイントが7位、チームポイ  
ントが8位となっていて、シリーズランキングでさらに上位に入るためには、大量ポイントの獲得  
が可能な今戦で確実に結果を残したい。

第5戦は、8月4日(土)、5日(日)の二日間に渡ってスケジュールが組まれていて、4日には公  
式練習と予選、5日には500マイルの決勝レースが実施される。

## Qualifying Day

4日は、予定通りの8時40分に公式練習がスタートした。K-tunes RC F GT3には、まず中山雄一選手が乗り込み、持ち込みのセットアップや路面コンディションなどを確認する。計測6周目には1分38秒951をマークし、セットアップの方向性が間違っていなかったことが証明される。その後は、数回のピットインを繰り返してタイヤの比較などを実施し、19周を走行して新田守男選手にバトンタッチする。新田選手は、決勝レースを想定したセットアップを試すなど19周を周回した。公式練習の結果は、中山選手がマークした1分38秒951がベストタイムとなり、14番手で終えることとなった。

### <予選>

公式練習後には15分間のサーキットサファリが実施され、ここでは中山選手が8周を走行して予選前の最終チェックを行なった。

サーキットサファリの後は、ピットウォークや併催レースを間に挟みGT300クラスの予選は、14時35分に開始。K-tunes RC F GT3には中山選手が乗り込んで、予選Q1を戦った。3周に渡ってウォームアップを行なった中山選手は、4周目にタイムアタックを開始して1分39秒154をマーク。翌5周目もアタックを続行し、1分38秒684までタイムを短縮する。このタイムを計測した時点では、予選Q2へ進出できる14番手以内に入っていたが、15分の予選時間の最後にタイムを更新するマシンが多く、惜しくも17番手で予選Q2への進出を逃してしまった。しかし、トップタイムからコンマ7秒のギャップだったこともあり、ライバル勢との差は少ない。決勝レースを想定した公式練習の走行では安定したラップタイムを刻んでいたため、500マイルの耐久レースをコンスタントに周回すれば、上位入賞の可能性もある。



## Team Comment

---



Director : 影山 正彦

予選の結果だけを見ると、やはり富士スピードウェイは、RC F GT3 に取って相性が良いコースとは言えません。それでも、決勝レースは 500 マイルと長丁場なので、的確な戦略を採れば上位へ進出することも可能だと思っています。明日は、諦めることなく我々のレースを行なって、ミスなく走っていきたいです。



Driver : 新田 守男

公式練習では多少のトラブルが出たこともありますが、決勝レースを見据えたセットアップができたと思います。昨シーズンに比べてリストラクターが小さいことやウエイトハンデが効いていて、一発のタイムは速くありません。そのため、予選 Q1 は厳しい戦いになっておりましたが、その通りになってしまいました。しかし、トップのマシンともそれほど差がないので、決勝レースは表彰台を狙って走っていきます。



Driver : 中山 雄一

5月に富士スピードウェイで開催された第2戦よりは、セットアップを含めて良い状況になっていると感じています。ウエイトハンデや BoP の影響があるので RC F GT3 は、予選で上位に入るのは難しいと思っていました。それでも、タイヤのフィーリングやセットアップについては、決勝レースで上位を狙える可能性があります。500 マイルの長いレースなので、明日はミスなくベストを尽くして走りたいです。

---

## 2018 年スーパー GT レーススケジュール

- ▶ 8.4-5      Round.5    FUJI
- 9.15-16    Round.6    SUGO